赤外線受光モジュール C 言語リモコンプログラム 解説マニュアル

第 1.00 版 2010 年 4 月 26 日 ルネサスマイコンカーラリー事務局 日立インターメディックス株式会社

注 意 事 項 (rev.2.0)

著作権

- ・本マニュアルに関する著作権はルネサスマイコンカーラリー事務局に帰属します。
- ・本マニュアルは著作権法および、国際著作権条約により保護されています。

禁止事項

ユーザーは以下の内容を行うことはできません。

- ・第三者に対して、本マニュアルを販売、販売を目的とした宣伝、使用、営業、複製などを 行うこと
- ・第三者に対して、本マニュアルの使用権を譲渡または再承諾すること
- ・本マニュアルの一部または全部を改変、除去すること
- ・本マニュアルを無許可で翻訳すること
- ・本マニュアルの内容を使用しての、人命や人体に危害を及ぼす恐れのある用途での使用

転載、複製

本マニュアルの転載、複製については、文書によるルネサスマイコンカーラリー事務局の事 前の承諾が必要です。

責任の制限

本マニュアルに記載した情報は、正確を期すため、慎重に制作したものですが万一本マニュアルの記述誤りに起因する損害が生じた場合でも、ルネサスマイコンカーラリー事務局はその責任を負いません。

その他

本マニュアルに記載の情報は本マニュアル発行時点のものであり、ルネサスマイコンカーラリー事務局は、予告なしに、本マニュアルに記載した情報または仕様を変更することがあります。製作に当たりましては、最新の内容を確認いただきますようお願いします。

連絡先

ルネサスマイコンカーラリー事務局

〒162-0824 東京都新宿区揚場町 2-1 軽子坂MNビル

TEL (03)-3266-8510

E-mail: official@mcr.gr.jp

目次

1.	概望	要		1
2.	ワー	ークスペ	ースのインストール	1
3.	プロ	ュグラム	解説「mini_mcr.c」	2
9	3. 1	プログラ	ムリスト	2
9	3. 2	赤外線リ	モコンのフォーマットについて	10
	3. 2.	1	フレーム構成	10
	3. 2.	2	リーダーコード	11
	3. 2.	3	カスタムコード、データコード、データコード(反転)	11
9	3. 3	シンボル	定義	12
9	3. 4	メインプ	゜ログラムを説明する前に	13
3	3. 5	R8C/35A	の内蔵周辺機能の初期化: init 関数	13
3	3.6	割り込み	プログラム: intTRAIC 関数	15
	3. 6.	1	アンダーフロー	15
	3. 6.	2	エッジ検出	16
3	3. 7	メインプ	゚ログラム:main 関数]	18
	3. 7.	1	データ受信チェック	18
	3. 7.	2	データチェック	[9
	3. 7.	3	モーター駆動2	20
	3. 7.	4	デバッグ出力2	20
:	3. 8	赤外線リ	モコンのデータ解析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

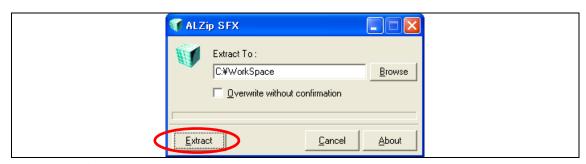
1. 概要

本書では、赤外線受光モジュールを使用した、C 言語リモコンプログラムの解説を行います。 リモコンプログラムは、ミニマイコンカーVer.2 の赤外線受光モジュールを使用して、市販の赤 外線リモコンでミニマイコンカーの操作をおこなうことができるようにするプログラムです。 開発環境の構築方法やプログラムのビルド、書き込みについては、「ミニマイコンカー製作キット Ver.2 C 言語走行プログラム解説マニュアル」の「3. インストール」「4. ミニマイコンカー Ver.2 の動作確認」を参照してください。

2. ワークスペースのインストール

日立インターメディックス株式会社のマイコンカーラリー販売ページからワークスペースのインストーラー「mini_mcr2_ir_vxxx.exe」(xxx はバージョン)をダウンロードします。

ダウンロードした「mini_mcr2_ir_vxxx.exe」をダブルクリックし、インストーラーを実行します。



表示されたデフォルトのインストール先のフォルダ「c:\text{WorkSpace}」を確認して、「Extract」を クリックします。

《補足》別のフォルダを選択する場合は、「Browse」をクリックしてください。



インストールが開始されます。



ワークスペースのインストールが完了しました。「OK」をクリックします。

以上でワークスペースのインストールは完了です。

3. プログラム解説「mini_mcr.c」

WorkSpace のファイルをそのままコンパイルして書き込むと、赤外線リモコン(NEC フォーマットの日立地上アナログテレビ)の「2」「4」「6」「8」ボタンでミニマイコンカーVer. 2 を操作できます。

3.1 プログラムリスト

```
2: // 対象マイコン R8C/35A
 3: // ファイル内容
                     リモコンプログラム
 4: // バージョン
                    Ver. 1.00
5 : // Date
                    2010, 4, 20
                    ルネサスマイコンカーラリー事務局
6 : // Copyright
                    日立インターメディックス株式会社
9: //-
10: // インクルード
11: //--
12 : #include <stdio.h>
13 : #include <string.h>
14 : #include "sfr_r835a.h"
15: #include "printf_lib.h"
16:
17: //-
18: // シンボル定義
19:
20 : #define TIMER_CYCLE
                                           // 1ms:0.001/(1/(20000000/128))-1
21 : #define PWM_CYCLE
                                           // 16ms:0.016/(1/(20000000/8))-1
                            39999
22:
23 : #define Def_500Hz
                            4999
                                           // 500Hz: (1/500)/(1/(20000000/8))-1
24 :
     #define Def_1000Hz
                            2499
                                           // 1000Hz: (1/1000)/(1/(20000000/8))-1
25 :
26:
     #define Def_C3
                            19083
                                           // F: (1/131)/(1/(20000000/8))-1
                                           // \(\nu: \left(1/147\right) / \left(1/(20000000/8)) -1
27 :
                            17006
     #define Def_D3
28 :
     #define Def_E3
                            15151
                                           // \xi: (1/165)/(1/(20000000/8))-1
29:
     #define Def_F3
                            14285
                                           // ファ:(1/175)/(1/(20000000/8))-1
30 : #define Def_G3
                            12754
                                           // \(\mathcal{Y}\): \((1/196)/(1/(20000000/8))-1
31 : #define Def_A3
                                           // ラ:(1/220)/(1/(20000000/8))-1
                            11362
                                           // >:(1/247)/(1/(20000000/8))-1
32: #define Def_B3
                            10120
33 : #define Def_C4
                            9541
                                           // F: (1/262)/(1/(20000000/8))-1
34:
```

```
asm("FCLR I") // 割り込み禁止
35 : #define DI()
                          asm("FSET I") // 割り込み許可
36 : #define EI()
37 :
38 : #define DefIrS
                          11249
                                         // リーダーコード(4.5ms):0.0045/(1/(20000000/8))-1
                           5624
39 : #define DefIrR
                                         // リピートリーダーコード(2.25ms):0.00225/(1/(20000000/8))-1
                                         // 0(0.565 \text{ms}) : 0.000565/(1/(20000000/8)) - 1
40 : #define DefIr0
                          1412
41 : #define DefIr1
                          4224
                                         // 1(1.69ms):0.00169/(1/(20000000/8))-1
42 : #define DefIrM
                         249
                                         // マージン(0.1ms):0.0001/(1/(20000000/8))-1
43 : //-
46 : void init( void );
47 : unsigned char sensor( void );
48 : void motor (int data1, int data2);
49 : void timer(unsigned long timer_set);
50 : void beep(int data1);
51 : unsigned char dipsw(void);
52 : unsigned char pushsw(void);
53:
54 : //---
55: // グローバル変数の宣言
56 : //--
57: unsigned long cnt0 = 0;
58: unsigned long cnt1 = 0;
                                        // timer 関数用
                                         // main 内で使用
59:
60 : volatile char ir_data[64];
61 : //--
62: // メインプログラム
63 : //----
64 : void main(void)
65 : {
66:
            int i;
67 :
            int button;
68:
            // 初期化
69:
70 :
            init();
71:
            init_uart0_printf(SPEED_9600);
72 :
73 :
            while(1){
74:
                    // 赤外線の受信データのリーダーコード、リピートリーダーコードをクリア
75 :
76:
                    ir_data[0] = ' ';
77 :
78:
                    // 受信のため待ち
                   timer(200);
79:
80 :
                   // リーダーコード、リピートリーダーコードが受信されていなかった場合 if( ir_data[0] == ' ') {
81 :
82:
                          // データをすべてクリア
83 :
                           for(i=0;i<60;i++){
84:
                                 ir_data[i] = ' ';
85 :
86:
87 :
88:
89 :
                    // ボタンが押されていない
90 :
                   button = 0;
91 : #if 1
92: //139 日立 地上アナログテレビ
                    // 2ボタン
93 :
94:
                    if( strncmp( &ir_data[0], "S00001010111101010111000010001111", 1+32 ) == 0 ||
                           strncmp(&ir_data[0], "R00001010111101010111000010001111", 1+32) == 0){
95:
96:
                           button = 2;
97:
98:
                    // 4ボタン
                    if( strncmp( &ir_data[0], "S0000101011110101011100011000111", 1+32 ) == 0 |
99 :
                           strncmp(&ir_data[0], "R00001010111101010011100011000111", 1+32) == 0){
100:
101:
                           button = 4;
102:
                    // 6ボタン
103:
104:
                    if( strncmp( &ir_data[0], "S00001010111101010111100010000111", 1+32 ) == 0 |
                           strncmp(&ir_data[0], "R00001010111101010111100010000111", 1+32) == 0){
105:
106 :
                           button = 6;
```

```
108:
                     // 8ボタン
                     if( strncmp( &ir_data[0], "S00001010111101010010000011011111", 1+32 ) == 0 ||
109:
                             strncmp(&ir_data[0], "R00001010111101010010000011011111", 1+32) == 0){
110 :
111 :
                             button = 8;
112:
113 : #else
114: //134 NEC 地上アナログテレビ
115 :
                     if( strncmp( &ir_data[0], "S00011000111001111000100001110111", 1+32 ) == 0 ||
116:
117 :
                             strncmp(&ir_data[0], "R00011000111001111000100001110111", 1+32) == 0){
118:
                             button = 2;
119:
                     // 4ボタン
120 :
                     if( strncmp( &ir_data[0], "S00011000111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ||
121:
                             strncmp(&ir_data[0], "R00011000111001111100100000110111", 1+32) == 0){
199 :
123 :
                            button = 4;
124 :
                     // 6ボタン
125 :
                     126:
127:
128 :
                             button = 6;
129 :
                     // 8ボタン
130 :
131 :
                     if( strncmp( &ir_data[0], "S00011000111001111110100000010111", 1+32 ) == 0 ||
132 :
                             \label{eq:strncmp} $$ \operatorname{strncmp}( \text{\&ir\_data[0], "R00011000111001111110100000010111", 1+32 ) == 0 ) $$ $$ $$ $$ $$
                             button = 8;
133 :
134 :
135 : #endif
136 :
137 :
                     switch( button ) {
                     // ボタンが押されていないか
138:
                     case 0:
139 :
140 :
                             motor(0, 0);
141 :
                            break;
142 :
                     // 2 ボタンで前進
143 :
144 :
                     case 2:
145 :
                             motor(100, 100);
146 :
                             break;
147 :
                     // 4 ボタンで左旋回
148:
149:
                     case 4:
150 :
                             motor(0, 100);
151 :
                             break;
152 :
153 :
                     // 6 ボタンで右旋回
154:
                     case 6:
155 :
                             motor(100, 0);
156:
                             break;
157 :
158 :
                     // 8ボタンでバック
159 :
                     case 8:
160 :
                             motor( -100, -100 );
161:
                             break;
162 :
163 :
                     default:
164:
                            break;
165 :
166:
167 :
                     // デバッグ出力
168:
                     for(i=0;i<60;i++){
169:
170 :
                            printf("%c", ir_data[i]);
171 :
                     printf("\forall n");
172 :
173 :
                     printf("Yn");
174 :
             }
175 :
176:
177 : }
178 :
```

```
180: // R8C/35Aの内蔵周辺機能の初期化
181 : //--
182 : void init( void )
183 : {
            unsigned char i = 0;
184 :
185 :
            // 割り込み禁止
186 :
187 :
            DI();
188 :
            // クロック発生回路の XIN クロック設定
189:
190 :
            prc0 = 1;
191:
192 :
            cm13 = 1;
193 :
            cm05 = 0;
            while(i \langle = 50 \rangle i++;
194:
195 :
            ocd2 = 0;
196 :
197 :
            prc0 = 0;
198 :
            // I/0 ポートの入出力設定
199 :
200 :
            prc2 = 1;
                                        // pd0 レジスタへの書き込み許可
            pd0 = 0xe0;
201 :
                                        // P0 0~P0 3:センサー
                                        // P0_4:マイクロスイッチ
202:
203 :
                                        // P0_5~P0_7:LED
204:
            prc2 = 0;
                                        // pd0 レジスタへの書き込み禁止
                                        // P1_0~P1_3:LED
205 :
            pd1 = 0xdf;
                                        // P1_4:TXD0
206:
207:
                                        // P1_5:RXD0
208 :
            pd2 = 0xfe;
                                        // P2_0:スイッチ
209:
                                        // P2_1:AIN1
210 :
                                        // P2_2:PWMA
                                        // P2_3:BIN1
211:
212:
                                        // P2_4:PWMB
213 :
                                        // P2_5:SERVO
214 :
                                        // P2_6:AIN2
215 :
                                        // P2_7:BIN2
216 :
            pd3 = 0xfb;
                                        // P3_2:赤外線受信
217 :
                                        // P3_4:ブザー
218 :
            pd4 = 0x80;
                                        // P4_2:VREF
                                        // P4_3~P4_5:DIPSW
219:
220 :
                                        // P4_6:XIN
221 :
                                        // P4_7:XOUT
222 :
            pd5 = 0x40;
                                        // P5_7:DIPSW
                                        // P6_7:\ENABLE\
223 :
            pd6 = 0xff;
224 :
                                        // P6_6:LATCH
225 :
                                        // P6_5:\SCLR\
                                        // P6_4:SCLK
226 :
227 :
                                        // P6_3:ROWA_SIN
                                                             行A
                                        // P6_2:ROWB_SIN
228:
                                                             行 B
229 :
                                        // P6_1:COL_SIN
                                                             列
230 :
                                        // P6_0:
231 :
232 :
233 :
234 :
                                        // モジュールストップ解除
            mstcr = 0x00;
235 :
            // タイマーRA のパルス幅測定モードで赤外線リモコンの受信パルスを測定
236 :
            traioc = 0x00;
                                      // Lレベル幅、フィルタなし
237 : //
238 : //
            traioc = 0x10;
                                       // Lレベル幅、フィルタあり
239 : //
            traioc = 0x01;
                                       // Hレベル幅、フィルタなし
            traioc = 0x11;
                                        // Hレベル幅、フィルタあり
240 :
241:
242 :
            tramr = 0x13;
                                        // パルス幅測定モード f8
243 :
            trapre = 0xff;
                                        //
244 :
            tra = 0xff;
            trasr = 0x03;
245 :
                                        // P3_2 に割り当てる
246 :
            traic = 0x01;
                                        // タイマーRA の割り込みレベル設定
247:
            tracr = 0x01;
                                        // スタート
248:
            // タイマーRBの1ms割り込み設定
249 :
                                        // カウントソースは f1
250 :
            trbmr = 0x00;
```

```
trbpre = 128 - 1;
                                     // プリスケーラ
252 :
            trbpr = TIMER_CYCLE;
                                     // プライマリカウンタ
                                      // タイマーRB の割り込みレベル設定
253 :
            trbic = 0x01;
254 :
            trbcr = 0x01;
                                     // カウントを開始
255 :
256 :
           // タイマーRCの PWM モード
            trccr1 = 0xb0;
                                      // カウントソースは f8
257 :
258 :
            trcgra = 0;
                                     // 圧電サウンダの周期
259 :
            trcgrc = 0;
                                     // 圧電サウンダのデューティ比
                                     // TRCIOC 端子はアクティブレベル H
260 :
            trccr2 = 0x02;
                                     // TRCIOC 端子の出力許可
261:
           trcoer = 0x0b;
262 :
            trcpsr1 = 0x02;
                                      // TRCIOC 端子を P3_4 に割り当て
263 :
            trcmr = 0x8a;
                                      // カウントを開始
264:
           // タイマーRD のリセット同期 PWM モード
265 :
            trdpsr0 = 0x08;
                                     // TRDIOBO 端子を P2_2 に割り当て
266 :
267:
           trdpsr1 = 0x05;
                                     // TRDIOB1 端子を P2_5 に割り当て
268 :
                                     // TRDIOA1 端子を P2_4 に割り当て
                                     // レジスタをバッファ動作にする
269:
           trdmr = 0xf0;
                                     // リセット同期 PWM モードに設定
270:
           trdfcr = 0x01;
271 :
            trdoer1 = 0xcd;
                                     // TRDIOB1 の出力許可
                                     // TRDIOA1 の出力許可
272 :
273 :
                                     // TRDIOBO 端子の出力許可
                                      // カウントソースは f8
274:
           trdcr0 = 0x23;
275 :
           trdgra0 = trdgrc0 = PWM_CYCLE; // 周期
           276:
277 :
           trdgrb1 = trdgrd1 = 0; // TRDIOB1 端子 (サーボ)
trdstr = 0x0d; // カウントを開始
278 :
279:
280 :
281 :
            // 割り込み許可
282 :
            EI();
283 : }
284 :
285 : //--
286: // 割り込み
287 : //----
288 :
289 : #pragma interrupt intTRAIC (vect=22)
290 : void intTRAIC( void )
291 : {
292 :
            static int num = -1;
293 :
           unsigned short data;
294 :
           int
                        i;
295 :
           // アンダーフロー
296 :
297 :
            if( tundf_tracr == 1) {
298 :
299 :
                  // アンダーフローフラグをクリア
300 :
                  tundf_tracr = 0;
301 :
                  302 :
                  tra = 0xff;
trapre = 0xff;
303 :
                                    // カウンタをリセット
// カウントスタート
304 :
                  tstart_tracr = 1;
305 :
306 :
307 :
           }
308:
           // エッジ検出
309:
310 :
            if( tedgf_tracr == 1) {
311 :
                  // エッジ倫出フラグをクリア
312 :
313 :
                  tedgf_tracr = 0;
314 :
315 :
                  // カウンタ値を取得
316:
                  data = tra;
317 :
                  data = data << 8;
318:
                  data = data + trapre;
                  data = 65535 - data;
319:
320 :
                  // リーダーコード倫出
321 :
322 :
                  if( ( DefIrS - DefIrM ) \le data && data \le ( DefIrS + DefIrM ) ){
```

```
num = 0;
324 :
                           ir_data[0] = 'S';
325 :
326 :
327 :
328 :
                    if( ( DefIr0 - DefIrM ) < data && data < ( DefIr0 + DefIrM ) && 0 <= num && num <= 31 ) {
329 :
                           num++;
                           ir_{data[num]} = '0';
330 :
331 :
332 :
                    // 1 受信
333 :
334 :
                    if( ( DefIr1 - DefIrM ) < data && data < ( DefIr1 + DefIrM ) && 0 <= num && num <= 31 ) {
335 :
                           num++;
336 :
                           ir_data[num] = '1';
337 :
                    }
338 :
                    // リピートリーダーコード検出
339 :
340 :
                    if( ( DefIrR - DefIrM ) < data && data < ( DefIrR + DefIrM ) && num == 32 ){
341 :
                           ir_data[0] = 'R';
342 :
343 :
                                       // カウントストップ
344 :
                    tstart_tracr = 0;
                    345 :
346 :
347 :
                    tstart_tracr = 1;
                                        // カウントスタート
348 :
            }
349 :
350 :
351 : }
352 :
353 : #pragma interrupt intTRBIC (vect=24)
354 : void intTRBIC( void )
355 : {
356 :
             tundf_tracr = 0;
357 :
358 :
            p0_7 = p0_7;
359 :
360 :
             if(p0_7 = 0){
                   //p0_1、p0_3 のモニタが可能
p0_5 = ~p0_1;
p0_6 = ~p0_3;
361 :
362 :
363 :
364 :
            }else{
365 :
                    //p0_0、p0_2 のモニタが可能
366 :
                    p0_5 = p0_0;
367 :
                    p0_6 = p0_2;
             }
368 :
369 :
            cnt0++;
370 :
371 :
            cnt1++;
372 :
373 : }
374 :
375 : //-
376: // センサー状態検出
377: // 引数
                   なし
378: // 戻り値
                    センサ値
379 : //---
380 : unsigned char sensor( void )
381 : {
382 :
             volatile unsigned char datal;
383 :
384 :
            data1 = ~p0;
                                        // ラインの色は白
            data1 = data1 & 0x0f;
385 :
386 :
387 :
            return( datal );
388 : }
389 :
390 : //---
391: // モーター速度制御
392 : // 引数
                    左モーター:-100~100、右モーター:-100~100
                    0 で停止、100 で正転 100%、-100 で逆転 100%
393 : //
394: // 戻り値
                    なし
```

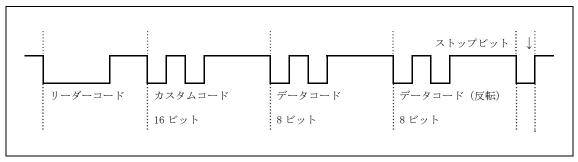
```
396 : void motor( int data1, int data2 )
397 : {
398 :
             volatile int motor_r;
399 :
             volatile int
                          motor_1;
                         sw_data;
400 :
             volatile int
401:
402 :
             sw_data = dipsw() + 5;
             motor_1 = (long)data1 * sw_data / 20;
403 :
404 :
             motor_r = (long)data2 * sw_data / 20;
405 :
406 :
             if( motor_1 \ge 0 ) {
407 :
                    p2_1 = 0;
408 :
                    p2_6 = 1;
409 :
                    trdgrd0 = (long) ( PWM_CYCLE - 1 ) * motor_1 / 100;
410 :
             } else {
411 :
                    p2_1 = 1;
412 :
                    p2_6 = 0;
413 :
                    trdgrd0 = (long)( PWM_CYCLE - 1 ) * ( -motor_1 ) / 100;
414 :
             }
415 :
            if( motor_r >= 0 ) {
416 :
417 :
                    p2_3 = 0;
                    p2_7 = 1;
418 :
419 :
                    trdgrc1 = (long) ( PWM_CYCLE - 1 ) * motor_r / 100;
420 :
             } else {
421 :
                    p2_3 = 1;
                    p2_7 = 0;
422 :
423 :
                    trdgrc1 = (long) ( PWM_CYCLE - 1 ) * ( -motor_r ) / 100;
424 :
             }
425 : }
426 :
427 : //--
428: // 時間稼ぎ
429: // 引数
                    タイマー値 1=1ms
430: // 戻り値
431: //-----
                   なし
432 : void timer(unsigned long data1)
433 : {
434 :
             cnt0 = 0;
435 :
            while( cnt0 < data1 );
436 : }
437 :
438 : //--
439: // 音を鳴らす
440: // 引数
                    (1/音の周波数)/(1/(クロック周波数/8))-1
441: // 戻り値
                   なし
442 : //--
443 : void beep( int data1 )
444 : {
445 :
             trcgra = datal;
                                         // 周期の設定
             trcgrc = data1 / 2;
                                         // デューティ 50%のため周期の半分の値
446 :
447 : }
448 :
449 : //--
450: // DIP スイッチ状態検出
451: // 引数
                    なし
452: // 戻り値
                    0~15、DIP スイッチが ON の場合、対応するビットが 0 になります。
453 : //--
454 : unsigned char dipsw( void )
455 : {
456 :
            volatile unsigned char datal;
457 :
458 :
             data1 = ( ( p5 >> 4 ) & 0x08 ) | ( ( p4 >> 3 ) & 0x07 );
459 :
460 :
             return( data1 );
461 : }
462 :
464: // プッシュスイッチ状態検出
465: // 引数
                    なし
466: // 戻り値
                    スイッチが押されていない場合:0、押された場合:1
```

```
467: //------
468: unsigned char pushsw( void )
469: {
470: unsigned char datal;
471:
472: datal = ~p2;
473: datal &= 0x01;
474:
475: return( datal );
476: }
```

3.2 赤外線リモコンのフォーマットについて

本書およびプログラムでは、NEC フォーマットの赤外線リモコンを使用しています。

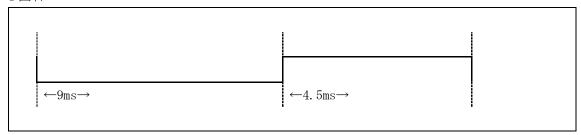
3.2.1 フレーム構成



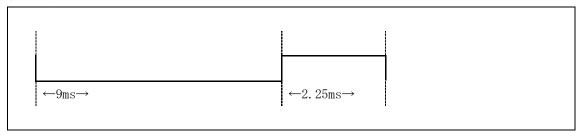
リーダーコードと 32 ビットのデータ、ストップビットで1フレームが構成されています。 ボタンを押しっぱなしにした場合、2フレーム目からは、リーダーコード(リピート)とストッ プビットのみになります。これらのコードのHレベル幅を測定し、コードの種類の判断をおこな います。

3.2.2 リーダーコード

1回目

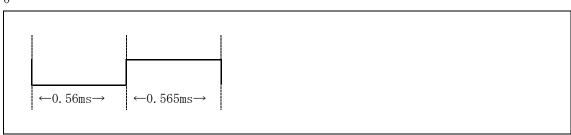


リピート

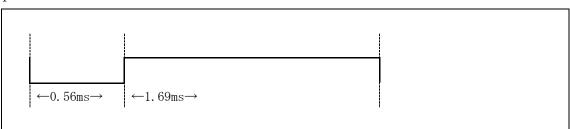


3.2.3 カスタムコード、データコード、データコード(反転)

0



1



3.3 シンボル定義

プログラム

名称	説明
DefIrS	DefIrS はリーダーコード(1回目)の H レベル幅を設定します。
	今回は4.5 [ms] に設定しますので、
	$4.5 \times 10^{-3} \div (1 \div (20 \times 10^{6} \div 8)) -1 = 11249$
DefIrR	DefIrR はリーダーコード (リピート) の H レベル幅を設定します。
	今回は 2.25 [ms] に設定しますので、
	$2.25 \times 10^{-3} \div (1 \div (20 \times 10^{6} \div 8)) -1 = 5624$
DefIr0	DefIr0 は 0 の H レベル幅を設定します。
	今回は 0.565 [ms] に設定しますので、
	$0.565 \times 10^{-3} \div (1 \div (20 \times 10^{6} \div 8)) -1 = 1412$
DefIr1	DefIr1 は1のHレベル幅を設定します。
	今回は 1.69 [ms] に設定しますので、
	$1.69 \times 10^{-3} \div (1 \div (20 \times 10^{6} \div 8)) -1 = 4224$
DefIrM	DefIrM は H レベル幅のマージンを設定します。
	今回は 0.1 [ms] に設定しますので、
	$0.1 \times 10^{-3} \div (1 \div (20 \times 10^{6} \div 8)) -1 = 249$

3.4 メインプログラムを説明する前に

main 関数は、main 関数の後に記載されている関数を組み合わせてプログラムしていますので、 先に main 関数以外の関数の解説を行います。

intTRAIC以外の関数については「ミニマイコンカー製作キット Ver. 2 C言語走行プログラム解説マニュアル」の「5. プログラム解説「mini_mcr.c」」を参照してください。

3.5 R8C/35A の内蔵周辺機能の初期化: init 関数

init 関数は「ミニマイコンカー製作キット Ver.2 C 言語走行プログラム解説マニュアル」で解説されています。ここでは、init 関数の変更部分のみを解説します。

```
// タイマーRA のパルス幅測定モードで赤外線リモコンの受信パルスを測定
236 :
237 : //
                                     // Lレベル幅、フィルタなし
            traioc = 0x00;
238 : //
           traioc = 0x10;
                                     // Lレベル幅、フィルタあり
                                     // Hレベル幅、フィルタなし
// Hレベル幅、フィルタあり
239 : //
           traioc = 0x01;
           traioc = 0x11;
240 :
241 :
           tramr = 0x13;
242 :
                                     // パルス幅測定モード f8
           trapre = 0xff;
243 :
                                     //
           tra = 0xff;
244 :
                                     // P3_2 に割り当てる
245 :
            trasr = 0x03;
246 :
            traic = 0x01;
                                     // タイマーRAの割り込みレベル設定
247 :
            tracr = 0x01;
```

タイマーRA をパルス幅測定モードにして使用するために設定をおこないます。

レジスタ	ビット	シンボル	説明	設定値
TRAIOC	7	TIOGT1	パルス幅測定モードでは"0"にします。	0x11
	6	TIOGTO		
	5	TIPF1	TRAIO 端子の入力フィルタを f1 にするため "1" にします。	
	4	TIPF0		
	3	TIOSEL	ハードウェア LIN 機能は使用しないので"0"にします。	
	2	TOENA	パルス幅測定モードでは"0"にします。	
	1	TOPCR		
	0	TEDGSEL	Hレベル幅を測定するために"1"にします。	
TRAMR	7	TCKCUT	カウントソースを供給するため"0"にします。	0x13
	6	TCK2	カウントソースを f8 にするため"001"にします。	
	5	TCK1		
	4	TCK0		
	3	-	何も配置されていないので、"0"にします。	
	2	TMOD2	パルス幅測定モードにするため"011"にします。	
	1	TMOD1		
	0	TMOD0		
TRAPRE			カウントダウンのため"0xff"にします。	0xff
TRA			カウントダウンのため"0xff"にします。	0xff
TRASR	7	-	何も配置されていないので、"0"にします。	0x03
	6	-		
	5	-		
	4	TRAOSEL1	使用しません。"0"にしておきます。	
	3	TRAOSEL0		
	2	-	何も配置されていないので、"0"にします。	
	1	TRAIOSEL1	TRAIO 端子を P3_2 に割り当てるので、"11"にします。	
	0	TRAIOSELO		

レジスタ	ビット	シンボル	説明	設定値
TRAIC	7	-	何も配置されていないので、"0"にします。	0x01
	6	-		
	5	-		
	4	-		
	3	IR	割り込み要求ビット	
	2	ILVL2	割り込みレベルを1にするため、"001"にします。	
	1	ILVL1		
	0	ILVL0		
TRACR	7	-	何も配置されていないので、"0"にします。	0x01
	6	-		
	5	TUNDF	アンダーフローフラグ	
	4	TEDGF	有効エッジ判定フラグ	
	3	-	何も配置されていないので、"0"にします。	
	2	TST0P	カウントを強制停止しないので"0"にします。	
	1	TCSTF	タイマーRA カウントステータスフラグ	
	0	TSTART	カウントを開始するため、"1"にします。	

3.6 割り込みプログラム: intTRAIC 関数

intTRAIC 関数はパルス幅測定モードでアンダーフロー時もしくは、TRAIO 端子の入力の立ち下り時に割り込みで実行されます。

プログラム

```
289 : #pragma interrupt intTRAIC (vect=22)
290 : void intTRAIC( void )
291 : {
292 :
            static int
                        num = -1;
293 :
            unsigned short data;
294 :
            int
295 :
            // アンダーフロー
296 :
297~307: 「3.6.1 アンダーフロー」を参照。
308 :
309:
            // エッジ検出
310~349: 「3.6.2 エッジ検出」を参照。
350 :
351 :
```

3.6.1 アンダーフロー

プログラム

```
| 297 : if ( tundf_tracr == 1) {
| 300 : 「(1) アンダーフローフラグのクリア」を参照。| 302~305 : 「(2) タイマーカウンタのクリア」を参照。| 307 : }
```

赤外線の入力がない場合、エッジ検出がされず、タイマーカウンタのアンダーフローがおこりますので、アンダーフローフラグのクリアとタイマーカウンタのクリアをおこないます。

(1) アンダーフローフラグのクリア

```
300 : tundf_tracr = 0;
```

TRACR レジスタの TUNDF ビットをクリアします。

(2) タイマーカウンタのクリア

```
302: tstart_tracr = 0; // カウントストップ
303: tra = 0xff; // カウンタをリセット
304: trapre = 0xff; // カウンタをリセット
305: tstart_tracr = 1; // カウントスタート
```

タイマーのカウントをストップさせて、TRA レジスタと TRAPRE レジスタに 0xff をセットします。 セット後に、カウントをスタートします。

3.6.2 エッジ検出

プログラム

```
310 :
           if( tedgf_tracr == 1) {
         「(1) エッジ検出フラグのクリア」を参照。
313 :
316~319:
         「(2) カウンタ値の取得」を参照。
322~325 :
         「(3) リーダーコード検出 (1回目)」を参照。
328~331 :
         「(4) 0 受信」を参照。
         「(5) 1受信」を参照。
334~337 :
340~342 :
         「(6) リーダーコード検出 (リピート)」を参照。
340~342 :
        「(7) タイマーカウンタのクリア」を参照。
349:
```

(1) エッジ検出フラグのクリア

```
313 : tedgf_tracr = 0;
```

TRACR レジスタの TEDGF ビットをクリアします。

(2) カウンタ値の取得

```
316: data = tra;

317: data = data << 8;

318: data = data + trapre;

319: data = 65535 - data;
```

TRA レジスタと TRAPRE レジスタで 16 ビットのカウンタとなりますので、それぞれの値を合計して、16 ビットの最大値の 65535 から引くことによって、受信したパルス幅がわかります。

(3) リーダーコード検出(1回目)

```
322 : if( ( DefIrS - DefIrM ) < data && data < ( DefIrS + DefIrM ) ) {
323 : num = 0;
324 : ir_data[0] = 'S';
325 : }
```

シンボル定義で指定したリーダーコード (1回目) ±マージンの範囲に、受信したパルス幅が入っていた場合、num 変数を "0" にして、ir data 配列の先頭に "S" を入れます。

(4) 0 受信

```
328: if( (DefIrO - DefIrM ) < data && data < (DefIrO + DefIrM ) && O <= num && num <= 31 ) {
329: num++;
330: ir_data[num] = 'O';
331: }
```

シンボル定義で指定した 0 の幅 ± マージンの範囲に、受信したパルス幅が入っていた場合、num 変数をインクリメントして、ir_data 配列に "0" を入れます。

(5) 1 受信

```
334: if( (DefIr1 - DefIrM ) < data && data < (DefIr1 + DefIrM ) && 0 <= num && num <= 31 ) {
335: num++;
336: ir_data[num] = '1';
337: }
```

シンボル定義で指定した1の幅±マージンの範囲に、受信したパルス幅が入っていた場合、num 変数をインクリメントして、ir_data 配列に"1"を入れます。

(6) リーダーコード検出(リピート)

```
340: if( (DefIrR - DefIrM ) < data && data < (DefIrR + DefIrM ) && num == 32 ) {
341: ir_data[0] = 'R';
342: }
```

シンボル定義で指定したリーダーコード (リピート) ±マージンの範囲に、受信したパルス幅が入っていた場合、ir_data 配列の先頭に "R" を入れます。

(7) タイマーカウンタクリア

```
      344:
      tstart_tracr = 0;
      // カウントストップ

      345:
      tra = 0xff;
      // カウンタをリセット

      346:
      trapre = 0xff;
      // カウンタをリセット

      347:
      tstart_tracr = 1;
      // カウントスタート
```

タイマーのカウントをストップさせて、TRA レジスタと TRAPRE レジスタに 0xff をセットします。 セット後に、カウントをスタートします。

3.7 メインプログラム: main 関数

main 関数は、スタートアップルーチンから呼び出され、最初に実行される C 言語のプログラムです。

プログラム

```
64 : void main(void)
65 : {
66:
             int i;
67 :
             int button;
68 :
             // 初期化
69 :
            init();
71 :
             init_uart0_printf(SPEED_9600);
72 :
73 :
            while(1){
75~ 87: 「3.7.1 データ受信チェック」を参照。
89~135: 「3.7.2 データチェック」を参照。
137~166: 「3.7.3 モーター駆動」を参照。
168~173: 「3.7.4 デバッグ出力」を参照。
175 :
176 :
177 : }
```

main 関数では、割り込みで受信した赤外線のデータを判断して、モーターを制御しています。

3.7.1 データ受信チェック

```
// 赤外線の受信データのリーダーコード、リピートリーダーコードをクリア
75 :
76:
                  ir_data[0] = ' ';
77 :
                  // 受信のため待ち
78:
                 timer(200);
79:
80 :
                 // リーダーコード、リピートリーダーコードが受信されていなかった場合 if( ir_data[0] == ' ') {
81 :
82:
                        // データをすべてクリア
83 :
84:
                        for (i=0; i<60; i++) {
                              ir_data[i] = ' ';
85 :
86:
87 :
```

ir_data 配列の先頭をクリアし、200「ms」待ちます。200「ms」待っている間に割り込みで赤外線データを受信した場合、先頭に "S"か "R"が入ってきますが、入らなかった場合は、データをすべてクリアして、次の受信に備えます。

3.7.2 データチェック

```
89 :
                                                                            // ボタンが押されていない
   90 :
                                                                          button = 0;
   91: #if 1
  92: //139 目立 地上アナログテレビ
                                                                          if( strncmp( &ir_data[0], "S00001010111101010111000010001111", 1+32 ) == 0 ||
   94:
                                                                                                    strncmp(&ir_data[0], "R00001010111101010111000010001111", 1+32) == 0 ){
  95:
  96:
                                                                                                   button = 2;
  97:
                                                                          // 4ボタン
   98:
                                                                          if( strncmp( &ir_data[0], "S00001010111101010011100011000111", 1+32 ) == 0 ||
  99:
                                                                                                    strncmp(&ir_data[0], "R000010101111010100111000111001111", 1+32) == 0){
100:
101:
                                                                                                   button = 4;
102 :
103 :
                                                                          // 6 ボタン
                                                                          if( strncmp( &ir_data[0], "S00001010111101010111100010000111", 1+32 ) == 0 ||
104:
                                                                                                    strncmp(&ir_data[0], "R000010111110101111100010000111", 1+32) == 0 ){
105:
106:
                                                                                                   button = 6;
107 :
                                                                          // 8ボタン
108:
                                                                          if( strncmp( &ir_data[0], "S00001010111101010010000011011111", 1+32 ) == 0 ||
109:
                                                                                                    strncmp(&ir_data[0], "R00001010111101010010000011011111", 1+32) == 0){
110 :
111:
                                                                                                   button = 8;
112:
113 : #else
114: //134 NEC 地上アナログテレビ
115 :
                                                                          if( strncmp( &ir_data[0], "S00011000111001111000100001110111", 1+32 ) == 0 ||
116:
                                                                                                    \label{eq:strncmp} $$ \operatorname{strncmp}( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{"R00011000111001111000100001110111"}, \mbox{ 1+32}) == 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{"R00011000111001111000100001110111"}, \mbox{$1$} + 32 ) == 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) == 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) == 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) == 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) == 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbox{\&ir\_data[0]}, \mbox{\ensuremath{$1$}} + 32 ) = 0 ) $$ ( \mbo
117:
118:
                                                                                                   button = 2;
119:
120 :
                                                                          // 4ボタン
                                                                          if( strncmp( &ir_data[0], "S00011000111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ||
121:
                                                                                                    \label{eq:strncmp} $$ ( \&ir_data[0], "R00011000111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110001111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110001111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110001111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110001111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011000111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011000111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011000111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011000111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110001111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110001111001111100100000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110001110011111001000000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110001110011111001000000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R0001100011110011111001000000110111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R0001100011110011111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R0001100011111001111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110001110011111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110001111001111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110001111001111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R0001100011111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110001111", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R000110011", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+32 ) == 0 ) ( ( \&ir_data[0], "R00011001", 1+
122:
123 :
                                                                                                   button = 4;
124:
                                                                          // 6 ボタン
125 :
                                                                          if( strncmp( &ir_data[0], "S00011000111001111010100001010111", 1+32 ) == 0 ||
126:
127 :
                                                                                                   128 :
                                                                                                   button = 6;
129:
                                                                          // 8ボタン
130 :
                                                                          if( strncmp( &ir_data[0], "S000110001110011111110100000010111", 1+32 ) == 0 ||
131:
132 :
                                                                                                   strncmp(&ir_data[0], "R00011000111001111110100000010111", 1+32) == 0){
133 :
                                                                                                   button = 8;
134 :
135 : #endif
```

ir_data 配列に格納された受信データを比較して、どのボタンが押されたかを button 変数に格納します。何も押されていない場合は"0"になります。

3.7.3 モーター駆動

```
137 :
                     switch( button ) {
                     // ボタンが押されていないか
 138 :
 139 :
140 :
                            motor(0, 0);
 141:
                            break;
 142 :
 143 :
                     // 2ボタンで前進
 144 :
                     case 2:
145 :
                            motor( 100, 100 );
 146 :
                            break;
 147 :
 148:
                     // 4 ボタンで左旋回
 149 :
                     case 4:
                            motor(0, 100);
 150:
 151 :
                            break;
 152 :
 153 :
                     // 6 ボタンで右旋回
 154 :
                     case 6:
                            motor( 100, 0 );
 155 :
 156 :
                            break;
 157 :
                     // 8ボタンでバック
158 :
 159 :
 160 :
                            motor( -100, -100 );
 161:
                            break;
 162:
163 :
                     default:
 164:
                            break;
 165 :
166:
```

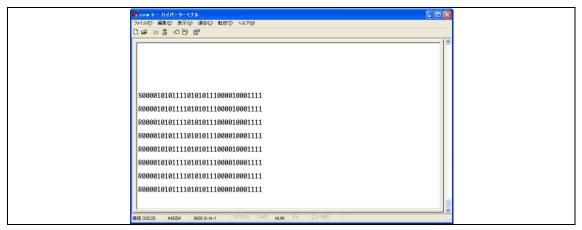
button 変数に格納されたデータによってミニマイコンカーVer.2の移動する方向を決めます。

3.7.4 デバッグ出力

ir_data 配列の中身をシリアルで出力します。

3.8 赤外線リモコンのデータ解析

受信データがどのようになっているかを見る場合は、ミニマイコンカーVer.2の電源を入れた状態で、ミニマイコンカーVer.2と PC を USB ケーブルで接続し、ハイパーターミナルなどの通信ソフトで確認をおこなうことができます。



ボタンを押すと、受信データが表示されます(。受信データは、"S" もしくは "R" と 32 個の数字で構成されています(タイミングによってすべて表示されない場合があります)。

表示された数字部分をコピーして、ir_data 配列と文字列を比較している部分に入れることで、 リモコンのボタンに対応させることができます。



改定記録	赤外線受光モジュール C言語リモコンプログラム
	解説マニュアル

版	発行日		改定内容
		ページ	ポイント

赤外線受光モジュール C言語リモコンプログラム解説マニュアル

発行年月日 2010年4月26日 第1.00版

発行 日立インターメディックス株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目1番地5